
大刀洗町地域公共交通計画

資料編 1 大刀洗町の地域現況

2022（令和4）年3月

福岡県 大刀洗町

資料編 1 大刀洗町の地域現況

1-1 検討の背景と目的

(1) 背景

福岡県内の各市町村ではコミュニティバスや福祉バスによる旅客自動車運送事業が取り組まれています。大刀洗町においては民間のバス事業者により、バス路線が維持されている状況です。

今後、少子高齢化が急速に進む中、公共交通の維持、発展を目指して公共交通の具体的施策を検討し実現する必要があります。

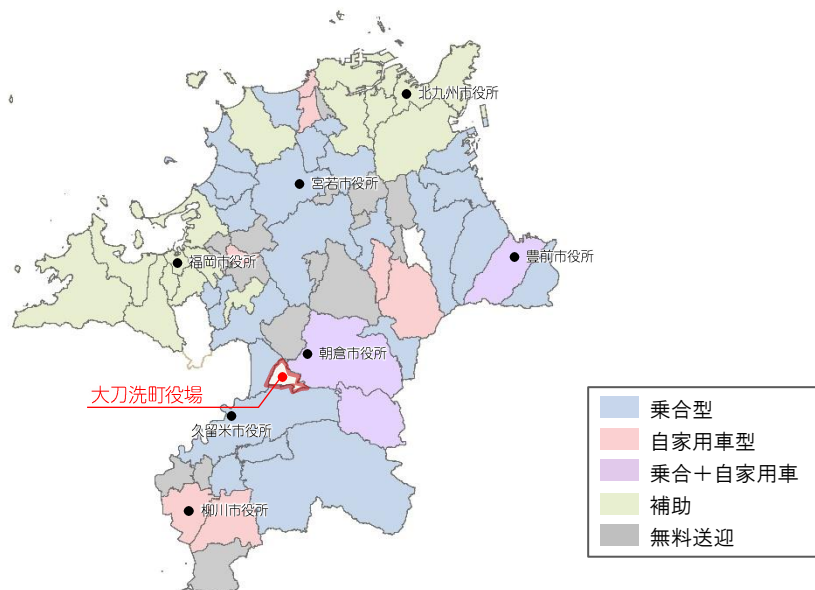


図 コミュニティバスの運営状況

大刀洗町は、高齢化の進展に伴い、自力での移動手段を持たない交通弱者の増加が見込まれています。また、自家用車の普及や少子化、さらには新型コロナウイルス感染症の発生による影響を受け、公共交通の利用者が減少傾向にあることから、地域の公共交通の維持・確保が厳しい状況にあります。

一方、地域公共交通網形成計画の根拠法である「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が2020（令和2）年11月に改正されたことにより、交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら、公共交通の改善や移動手段の確保に取り組める仕組みを拡充するためには、地域公共交通計画の策定が必要となりました。

(2) 目的

本計画では、大刀洗町における地域公共交通の現状、問題点・課題の整理を踏まえ、当地域に望ましい持続可能な地域公共交通の姿を明らかにし、その実現に向けた住民・交通事業者・行政の役割、取り組みの方針を定めることを目的とします。

(3) 公共交通を取り巻く現状と検討の必要性

地域公共交通は利用者の減少、営業収入の減少、路線バス廃止によるサービスの低下など、悪循環が社会問題となっており、様々な路線バス維持に向けた方策が、全国で取り組まれています。

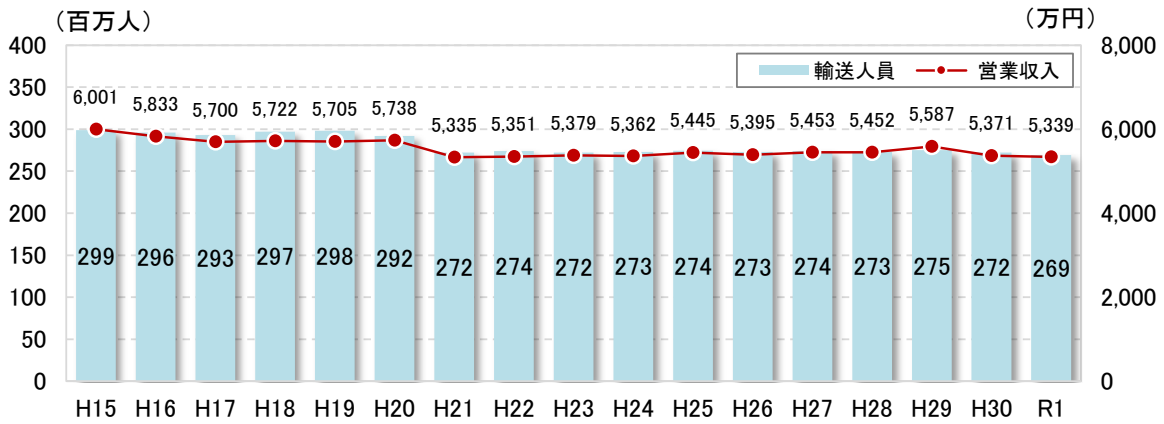


図 福岡県のバス輸送人員・営業収入の推移

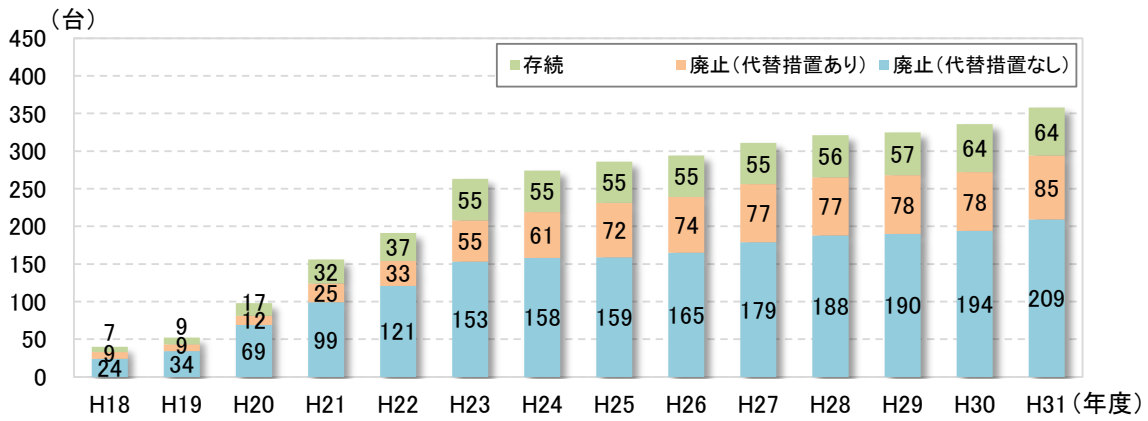


図 福岡県の路線バスの廃止申し出状況 (累計値)

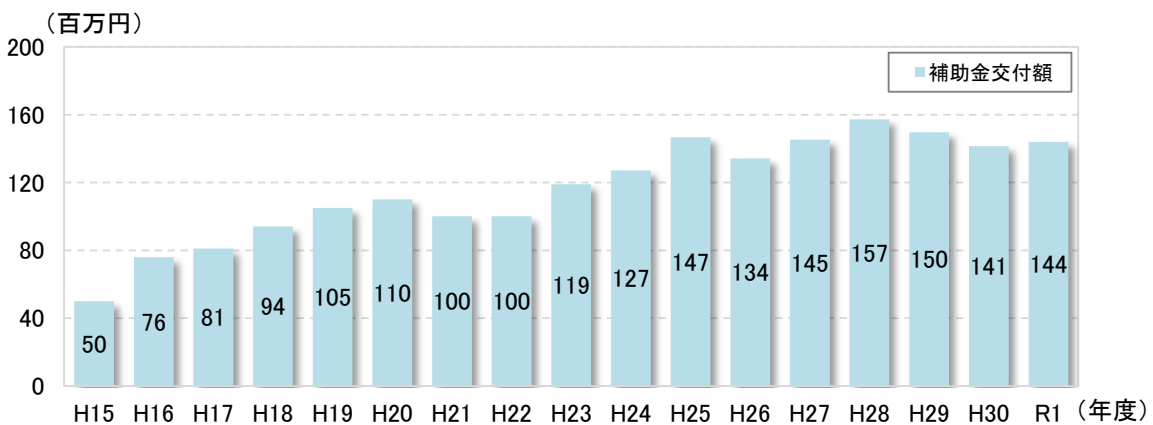


図 福岡県の地方バス運行維持国庫補助金交付額の推移

1-2 上位・関連計画

(1) 大刀洗町地域公共交通計画の位置付け

本計画は、「第5次大刀洗町総合計画」を上位計画として、広域の「福岡県都市計画区域マスタープラン」や「久留米広域連携中枢都市圏ビジョン」等の関連計画に示される方針と整合・連携を図りながら、隣接市町村と一体的な生活圏を形成した地域公共交通の確保・維持に向けたまちづくりを推進していくための計画です。

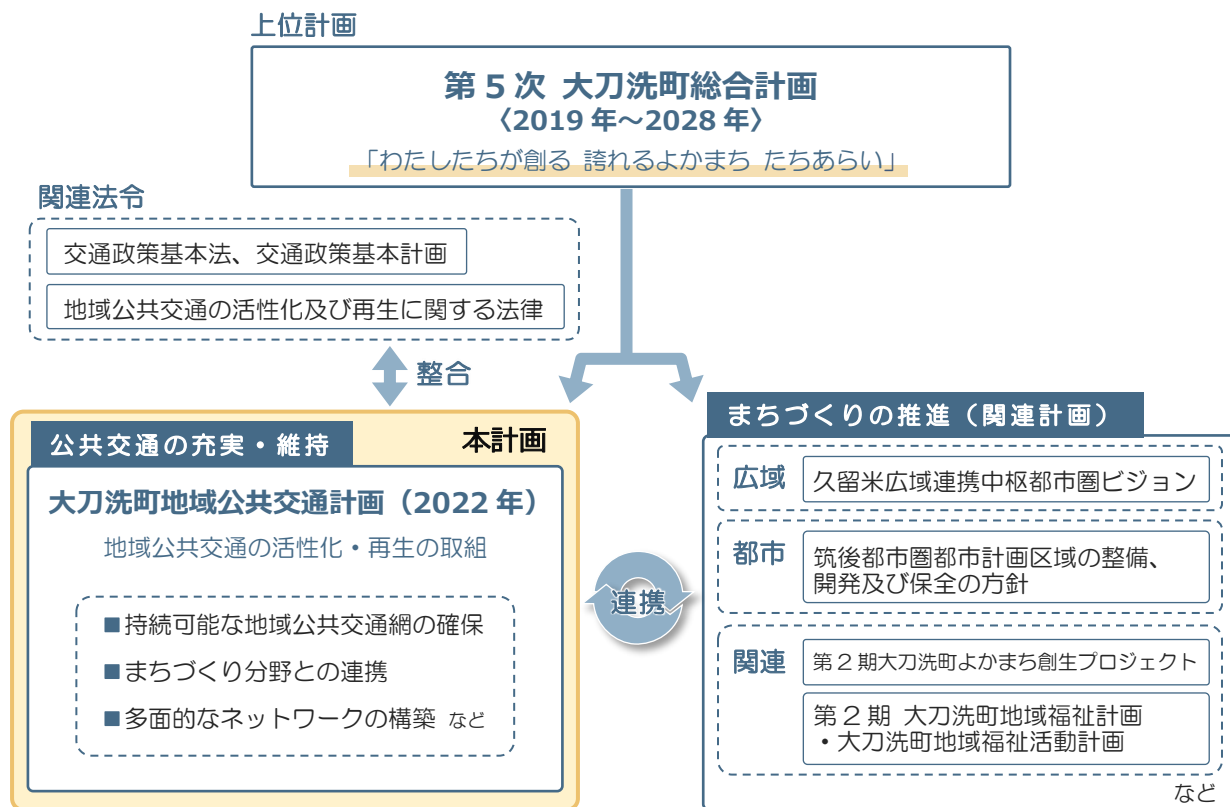


図 計画の位置付け

(2) 上位・関連計画における施策項目

公共交通の検討においては、地域が目指す将来像に沿った計画が求められています。以下に、上位・関連計画における施策の基本方針及び公共交通に関連する施策等を整理します。

〈上位計画〉

●第5次大刀洗町総合計画

「わたしたちが創る 誇れるよかまち たちあらい」の将来像のもと、公共交通に関しては、「誰もが公共交通を利用して、行きたい場所へ移動できる」ことを目標とし、以下の施策項目を掲げています。

- ▶各運営主体と連携した既存公共交通の維持
- ▶町民・近隣の自治体・交通事業者等と連携を図った補完的な交通手段の創出検討

〈関連計画〉

●久留米広域連携中枢都市圏ビジョン

「住み続けたい、暮らしてみたい、訪れてみたい～魅力ある久留米広域連携中枢都市圏の創造～」を目指す将来像とし、公共交通に関しては、「行政域を越える公共交通機関の利用促進や利便性の向上に取り組むことで、誰もが安全・安心に暮らせる持続可能な交通体系の実現を目指す」といった協約のもと、以下の施策項目を掲げています。

- ▶公共交通の路線情報等を網羅した公共交通マップの作成による公共交通の利用促進
- ▶効率的で利便性の高い生活支援交通ネットワークの構築
- ▶圏域における公共交通ネットワークの再編を検討

●筑後都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

「地域色を生かした文化と産業を育む田園都市圏の形成をめざす筑後都市圏」を都市づくりの目標とし、以下の公共交通に関する施策項目を掲げています。

- ▶拠点と公共交通軸による都市づくりへと拡充を図り、多様な世代が便利な場所で暮らせる質の高い都市づくりの推進
- ▶公共交通サービスの支援や、コミュニティバスの運行やデマンド交通など生活に身近な生活交通確保の取り組みを促進

●第2期 大刀洗町よかまち創生プロジェクト

大刀洗町が将来にわたって“よかまち”であり続けるために、「活力ある地域コミュニティの維持」を目指すべき姿とし、以下の公共交通に関する施策項目を掲げています。

- ▶町内巡回バス事業として、自力での移動手段をもたない高齢者等の交通弱者対策として、町内を巡回するバスの運行
- ▶大刀洗パーク&ライド等整備事業として、公共交通の利用促進と通勤通学の支援のため、公共交通機関を利用する方の駐車場等の整備

●第2期 大刀洗町地域福祉計画 ・ 大刀洗町地域福祉活動計画

基本理念である「支えあい 助けあうまち 大刀洗」のもと、以下の公共交通に関する施策項目を掲げています。

- ▶日常的な外出や余暇活動等のための外出の手助けとして、福祉車両等を使用して有償で行う福祉移送サービスを実施

1-3 地域の現況

(1) 地勢・立地及び交通網の配置状況

- 本町は、福岡県の中南域に位置し、筑後平野の北東部及び筑後川の中流域北岸に位置した平坦な農業地域です。南に久留米市、西に小郡市、東に朝倉市が隣接しています。
- 本町の交通網は、大分自動車道や国道 322 号、500 号、主要地方久留米筑紫野線等の県道により形成されています。また、北部及び東部には鉄道が配置されており、甘木鉄道と西鉄甘木線が運行しています。

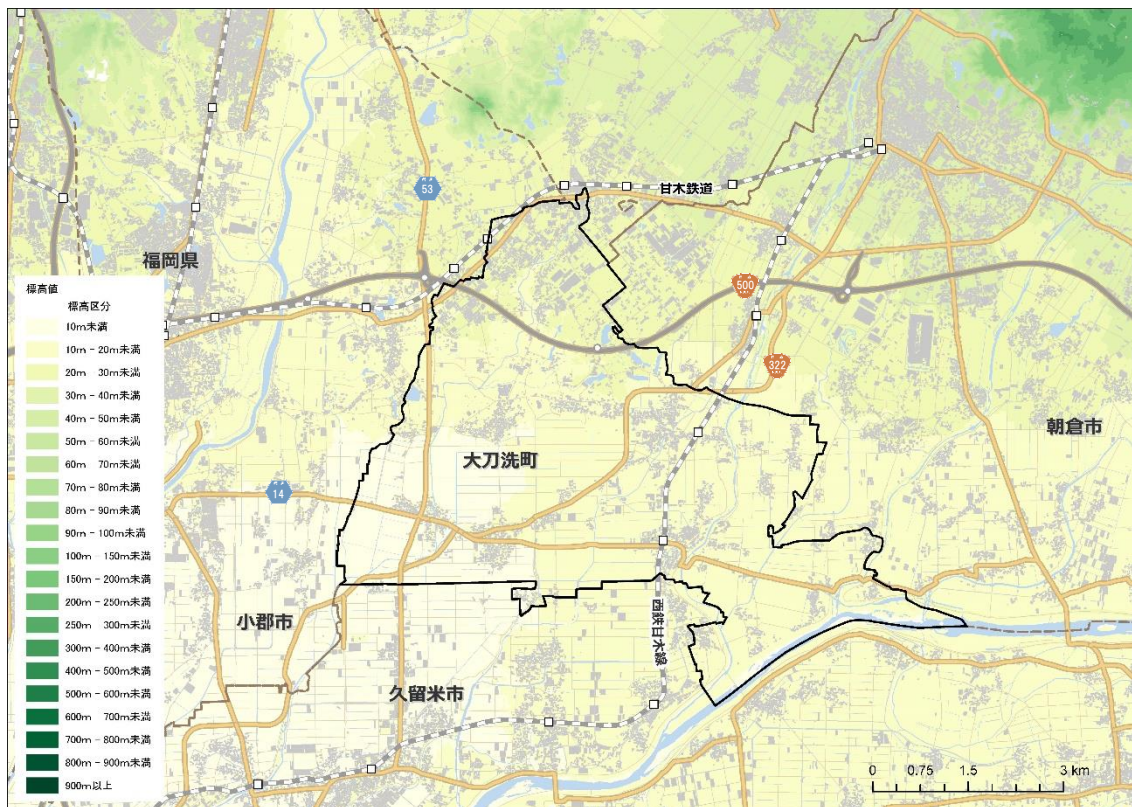


図 大刀洗町の位置図

(2) 土地利用状況

- 本町の総面積は、約 22.84 k m² (県全体の 0.5%) です。町域面積の 6 割以上を田 (田園・水田) 及び農用地が占め、鉄道駅周辺及び国道沿いに建物用地が集積しています。

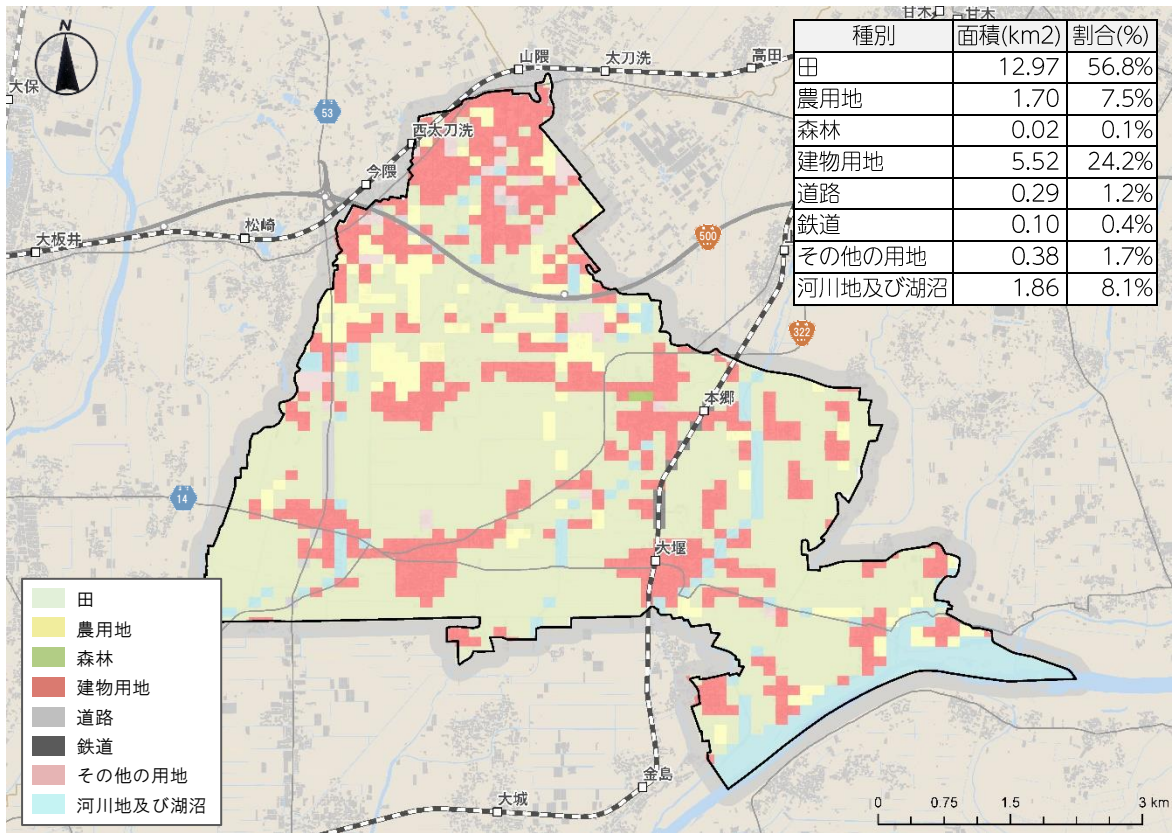


図 土地利用状況図

出典:国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ

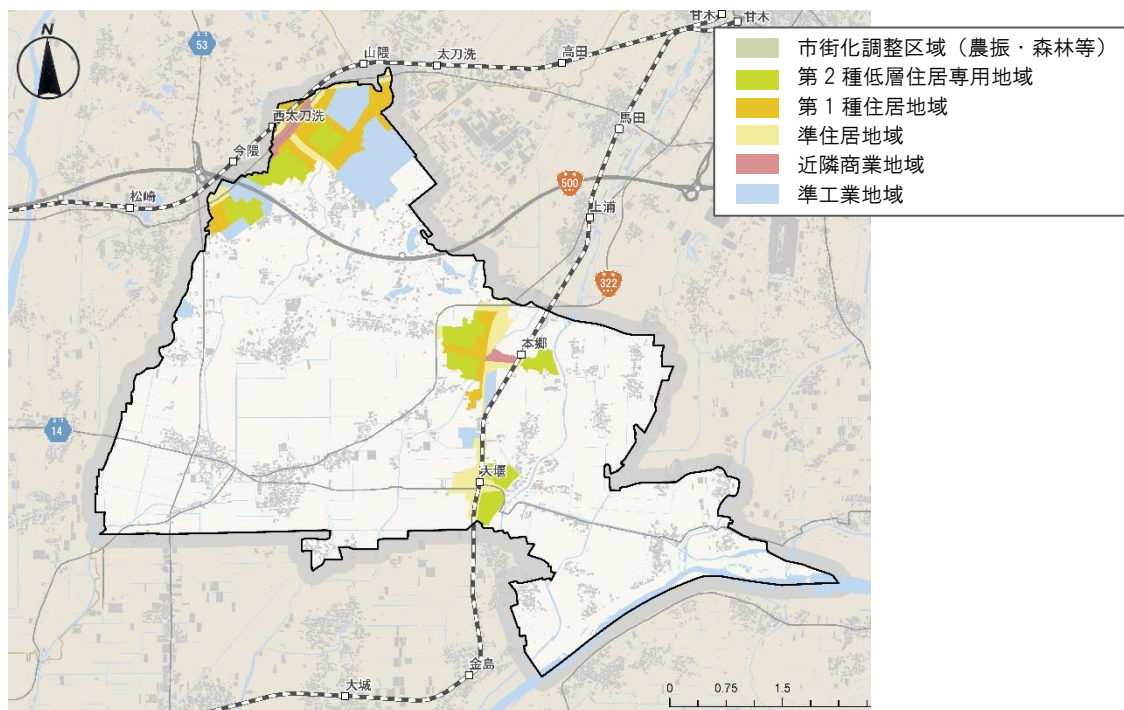


図 都市計画図

(3) 人口動向・分布

①人口推移及び将来人口の見通し

- 大刀洗町の人口は、直近 10 年間で 15.5 千人前後を推移しており、近年町北部の住宅建築に伴い直近 5 年においては人口の増加が見られています。
- 将来人口推計によると 2045 年には約 2,800 人の人口減少が予測されており、また、高齢化率（65 歳以上の割合）については、2020 年時点で 28.1%、約 3.5 人に 1 人が高齢者という状況です。2025 年には高齢化率が 30% を上回り、その後も増加傾向で推移し、高齢化の進行が懸念されています。

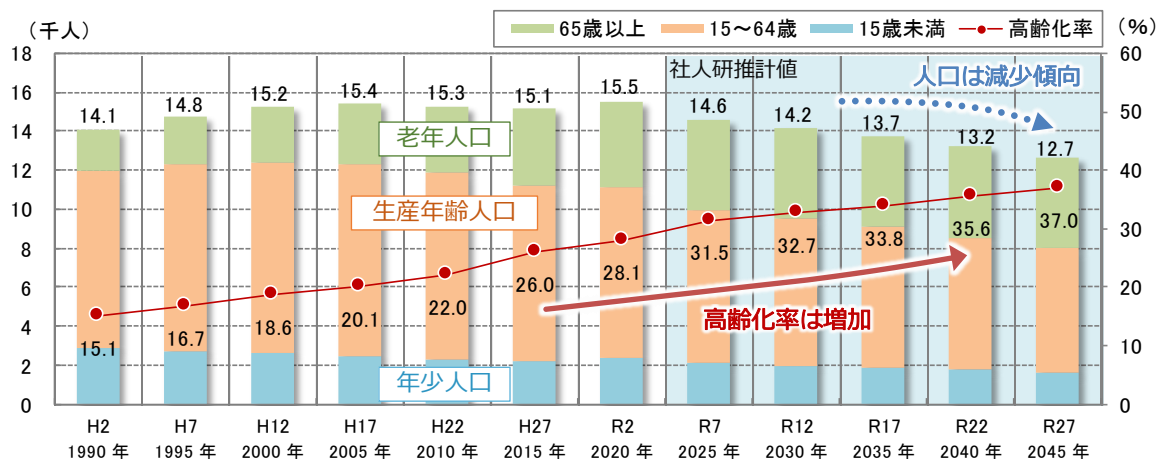


図 人口推移・年齢構成

資料 1: 各年の国勢調査(H7~R2)

資料 2: 国立社会保障・人口問題研究所 人口推計(H30.3)

②周辺他市の人口動向と高齢化率

- 周辺他市においても、今後の人口減少及び高齢化率の上昇が予測されています。

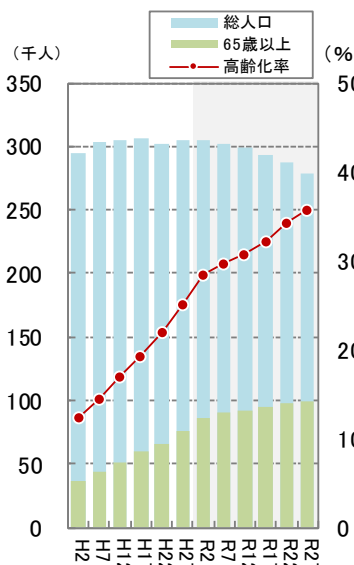


図 久留米市の人口推移

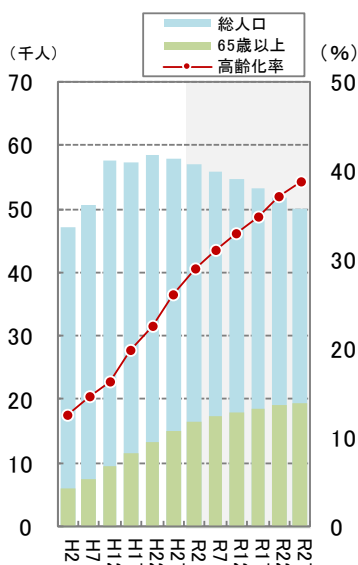


図 小郡市の人口推移

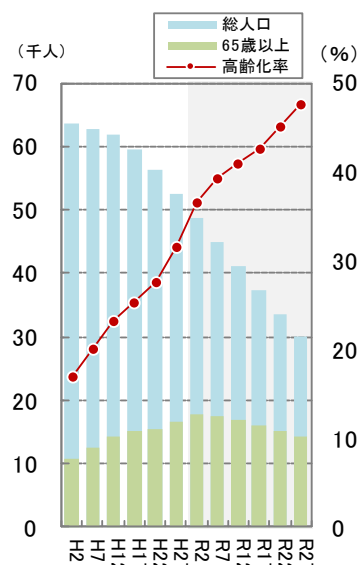


図 朝倉市の人口推移

資料 1: 各年の国勢調査(H7~H27)

資料 2: 国立社会保障・人口問題研究所 人口推計(H30.3)

③高齢者事故・免許返納

- 自動車技術（安全性の向上）等により県内の交通事故件数は減少する一方で、全事故件数に占める高齢者事故の割合は年々高くなっています。
- 近年、免許返納者数は増加しており、免許返納に伴う交通弱者の増加が懸念されます。

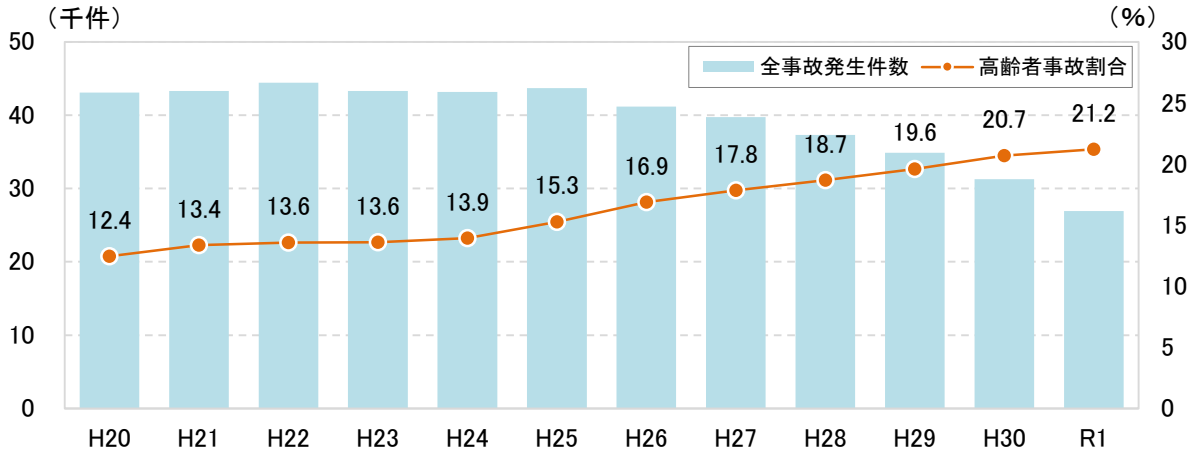


図 事故発生件数・高齢者の事故割合（福岡県）

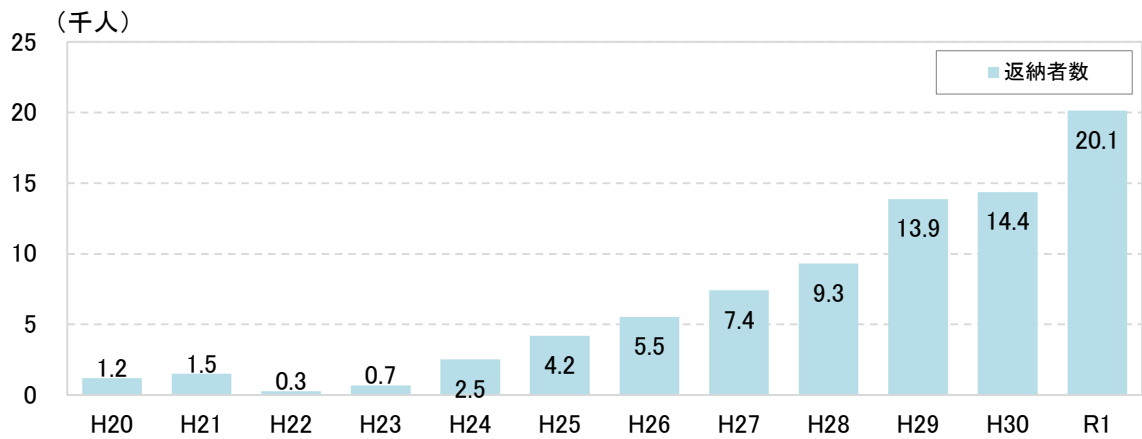
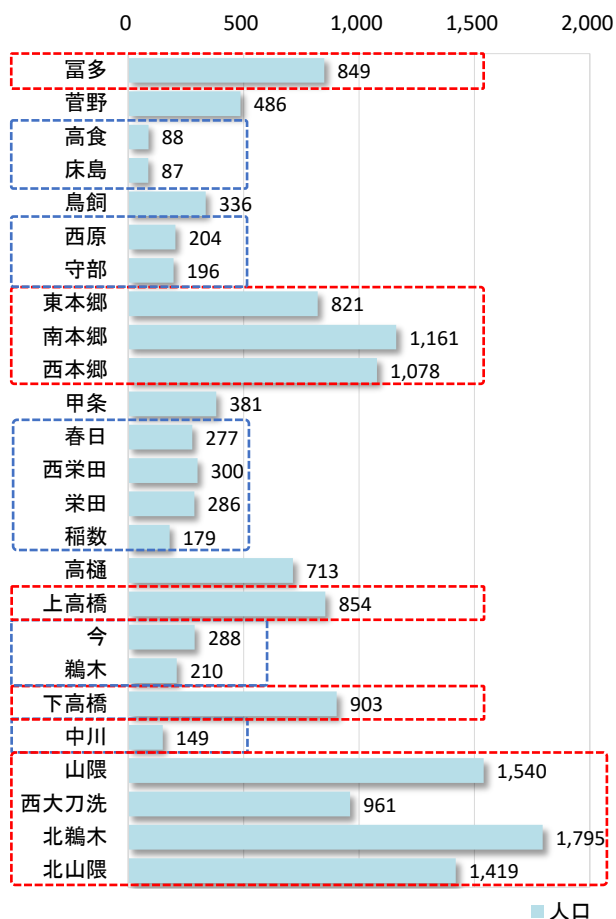


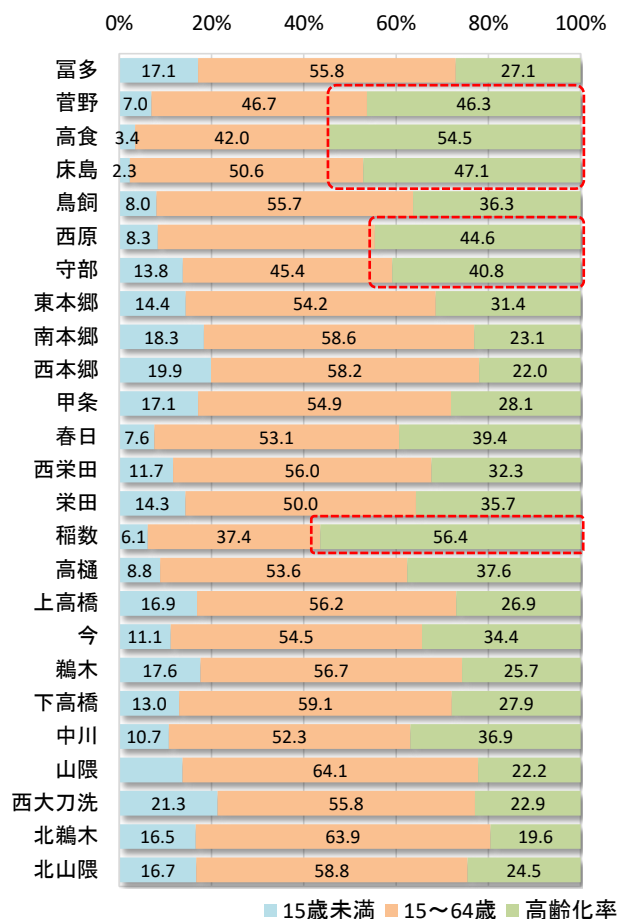
図 高齢者の免許返納状況（福岡県）

④行政区の人口及び人口構成

- 行政区別では、富多・東本郷・南本郷・西本郷・上高橋・下高橋・山隈・西大刀洗・北鷓木・北山隈区は人口総数が多い状況です。
- 高食・床島・西原・守部・春日・西栄田・栄田・稲数・今・鷓木・中川区は人口総数が比較的少ない区域となっています。
- 菅野・高食・床島・西原・守部・稲数区においては、他の区に比べ高齢化が進行しており、高齢化率が40%を上回っています。



出典：大刀洗町住民基本台帳(R4.2)
 図 行政区別の人口総数



出典：大刀洗町住民基本台帳(R4.2)
 図 行政区別/年齢階級別の人口構成

※施設入居者等を除いているため総人口の合計と一致しない

⑤人口分布及び高齢化の状況

- 町内における人口密度は、鉄道駅周辺及び国道沿いにおいて集中していますが、郊外部にかけては全体的に人口密度が低くなっています。

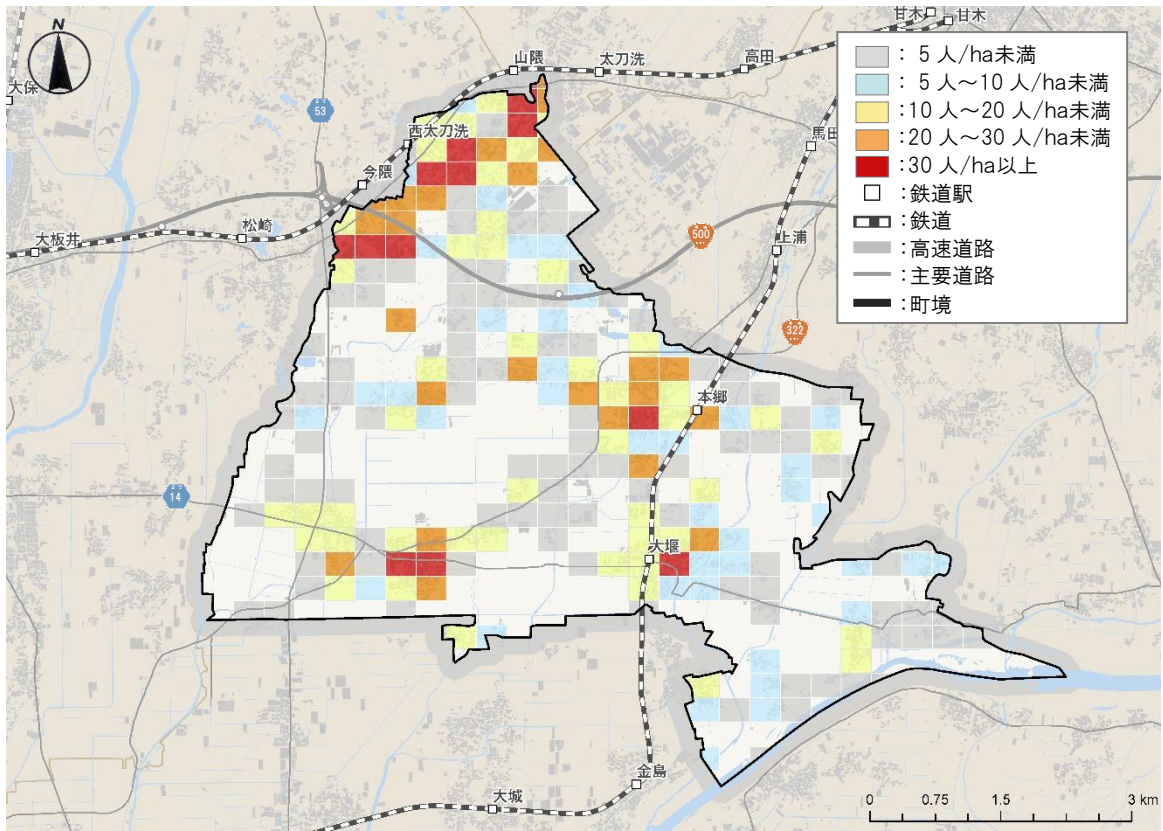


図 人口密度

出典：H27 国勢調査(250mメッシュ)をもとに算定

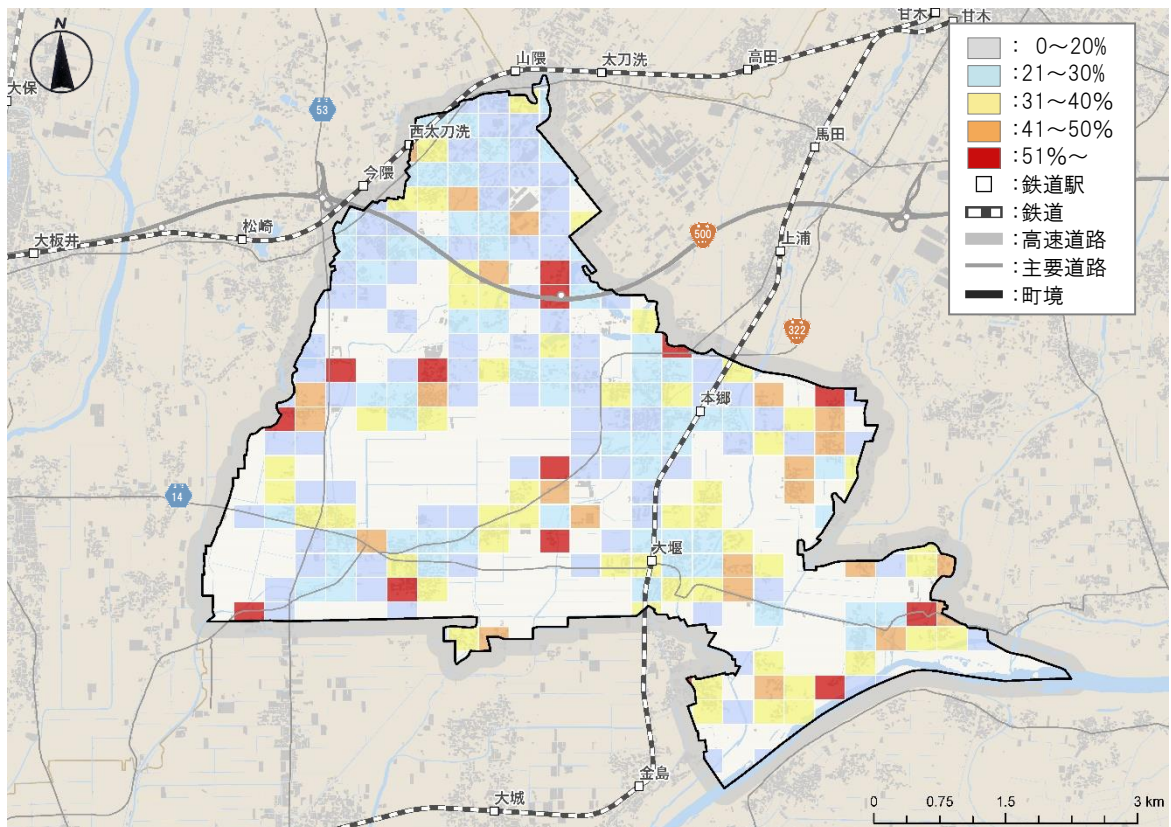


図 高齢化率

出典：H27 国勢調査(250mメッシュ)

(4) 主要施設の配置

- 町内における日常生活に必要な施設（下図では主に高齢者の生活に必要なと思われる買い物・医療施設）は鉄道駅周辺及び国道沿いに密集し、郊外部においては極めて少なくなっています。このため郊外部に居住する人々にとって、徒歩・自転車のみを利用した移動で生活することは難しい地域構造となっています。

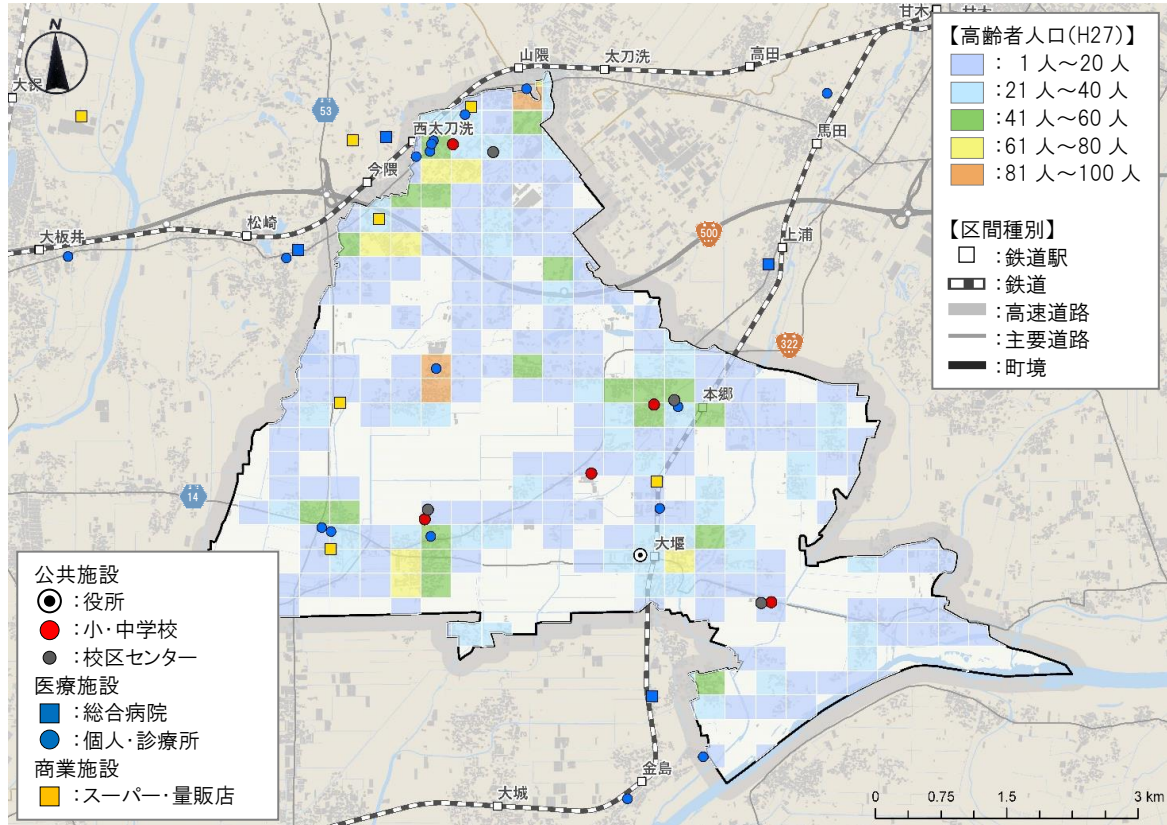


図 大刀洗町における主要施設の分布



(立地機能からみた拠点性)

- 町内における周辺機能（立地施設の集積）をみると、鉄道駅周辺及び国道沿いは平均的に生活サービス施設（商業・医療・金融・行政・教育・社会福祉施設などの）の集積がみられます。

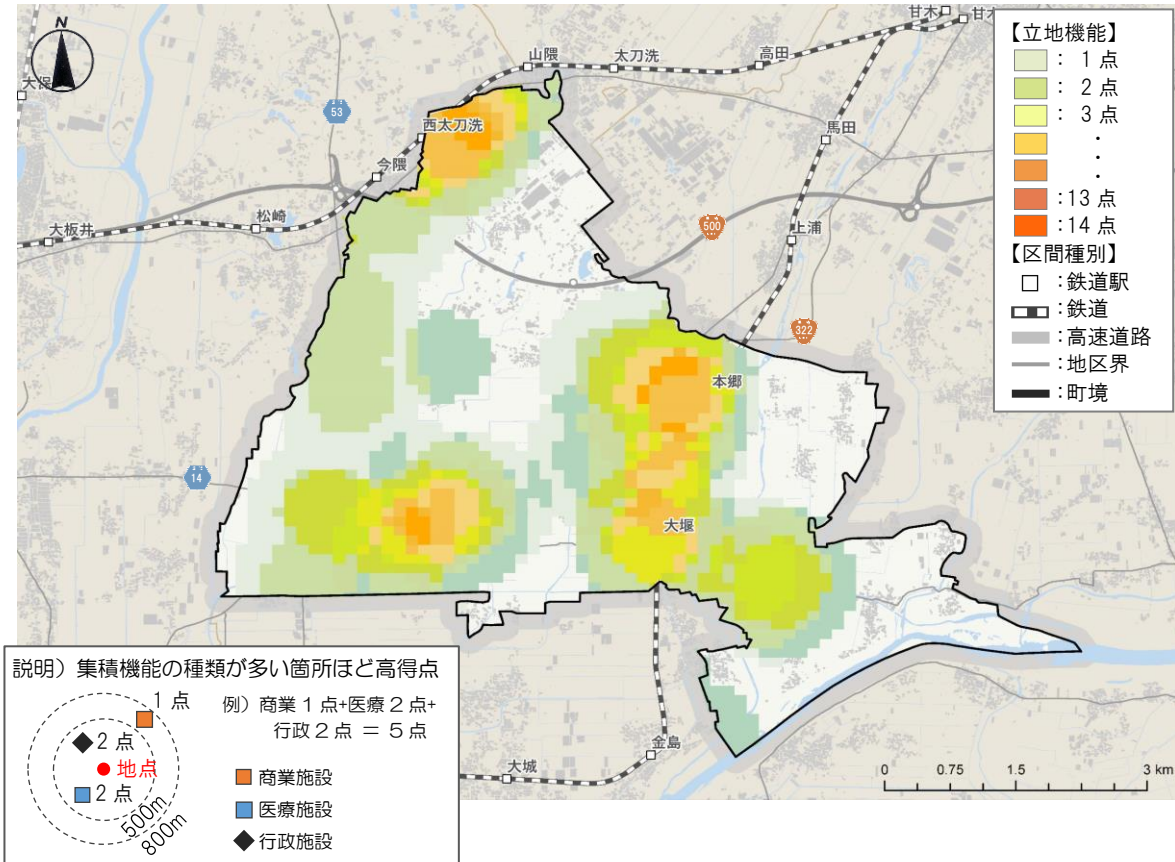


図 生活サービス施設の集積状況

(スーパー・量販店/ コンビニエンスストア)

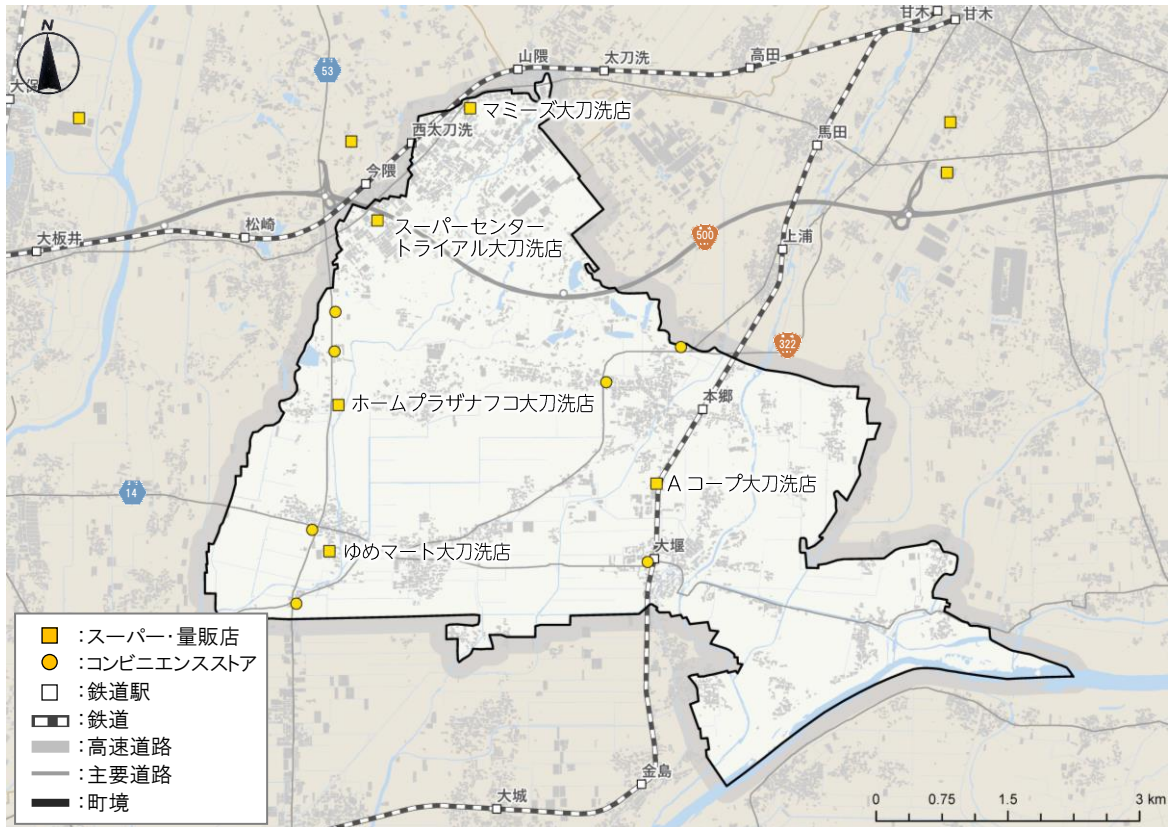


図 商業施設の分布図

(総合病院 / 個人・診療所)

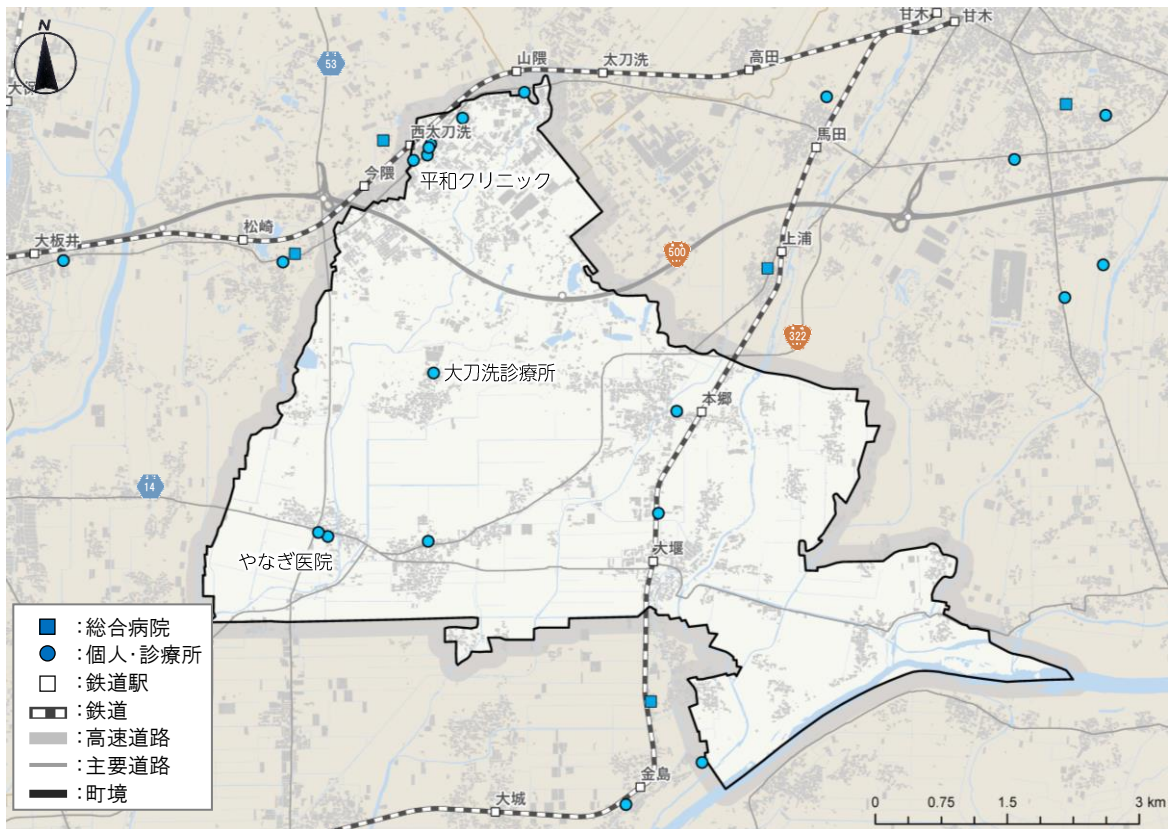


図 医療施設の分布図

出典:地域医療情報システムから作成

(郵便局/信用金庫)

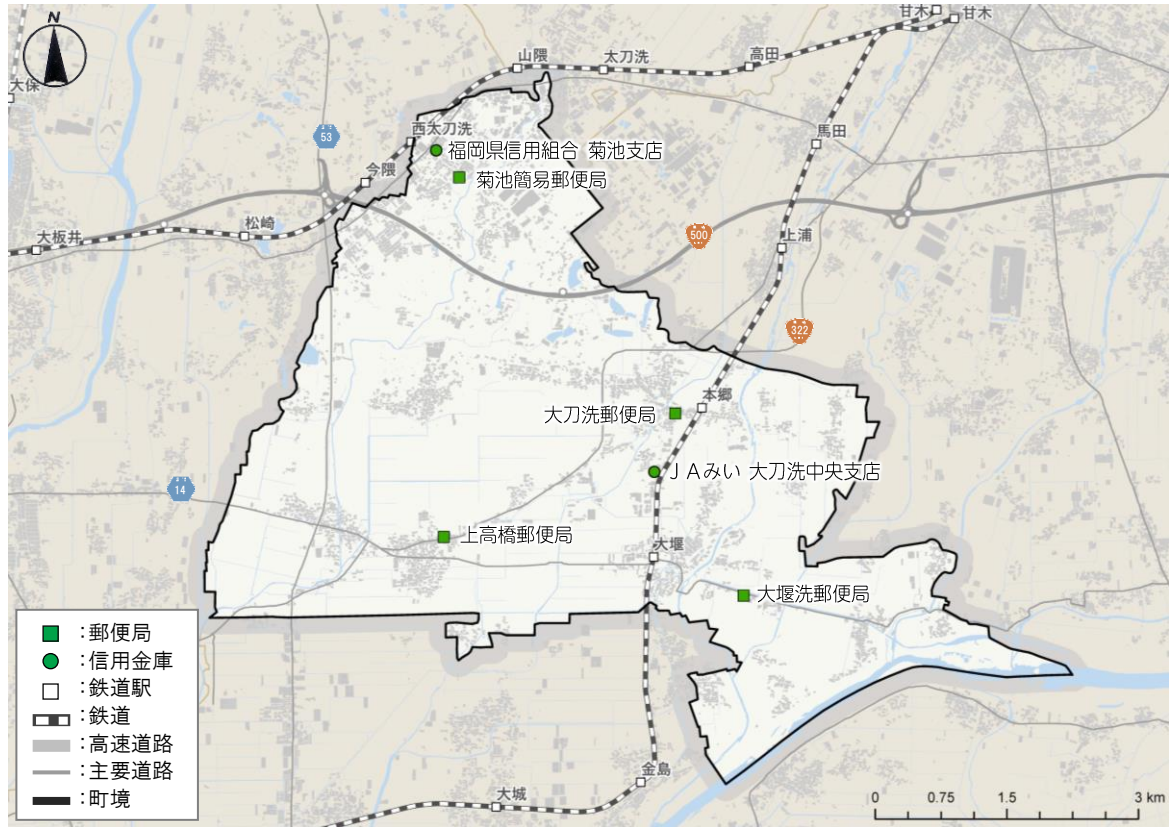


図 金融施設の分布図

(役場 / 交番・消防局)

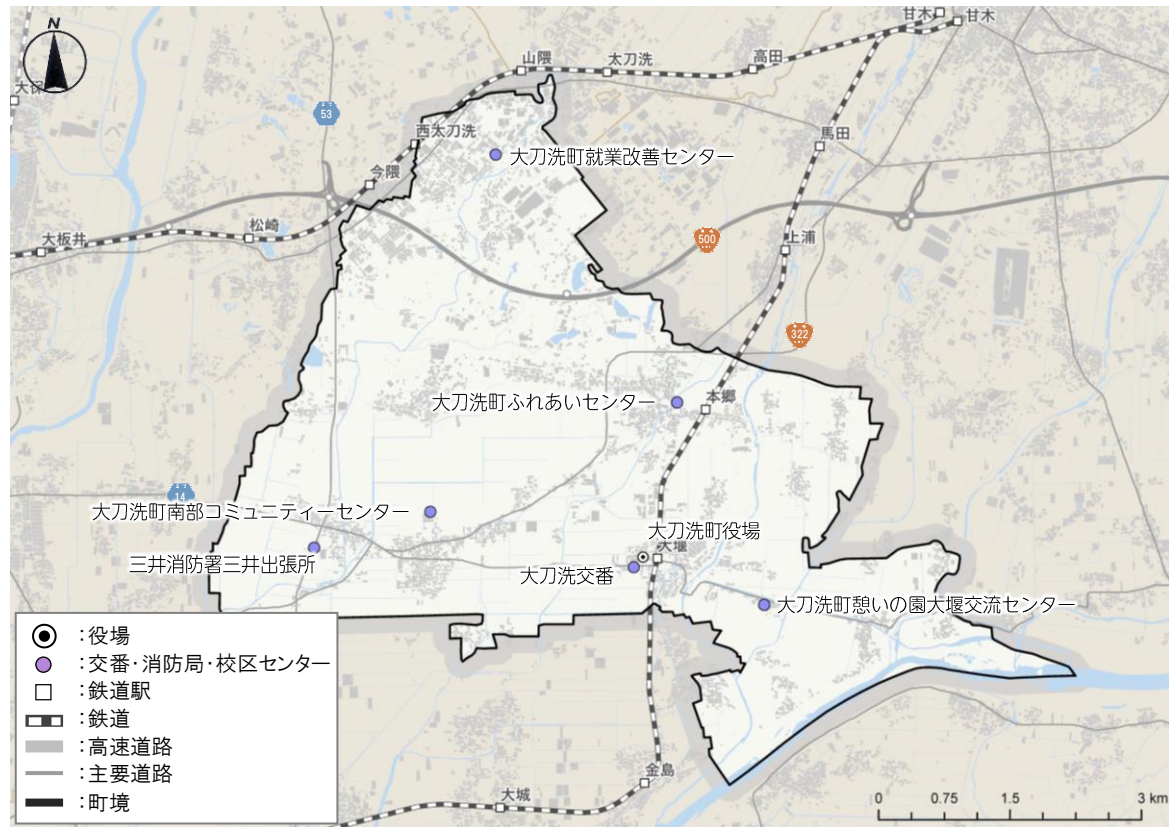


図 行政施設の分布図

(小学校 / 中学校)

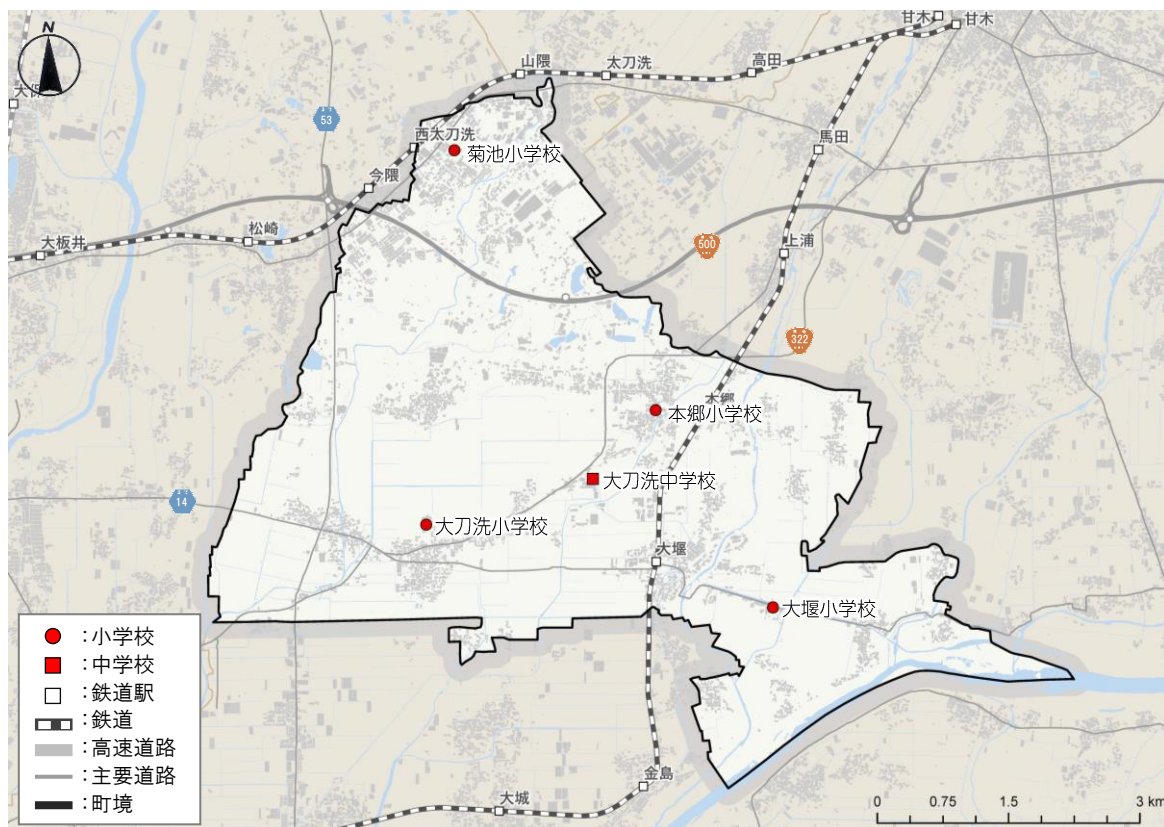


図 教育施設の分布図

(社会福祉施設)

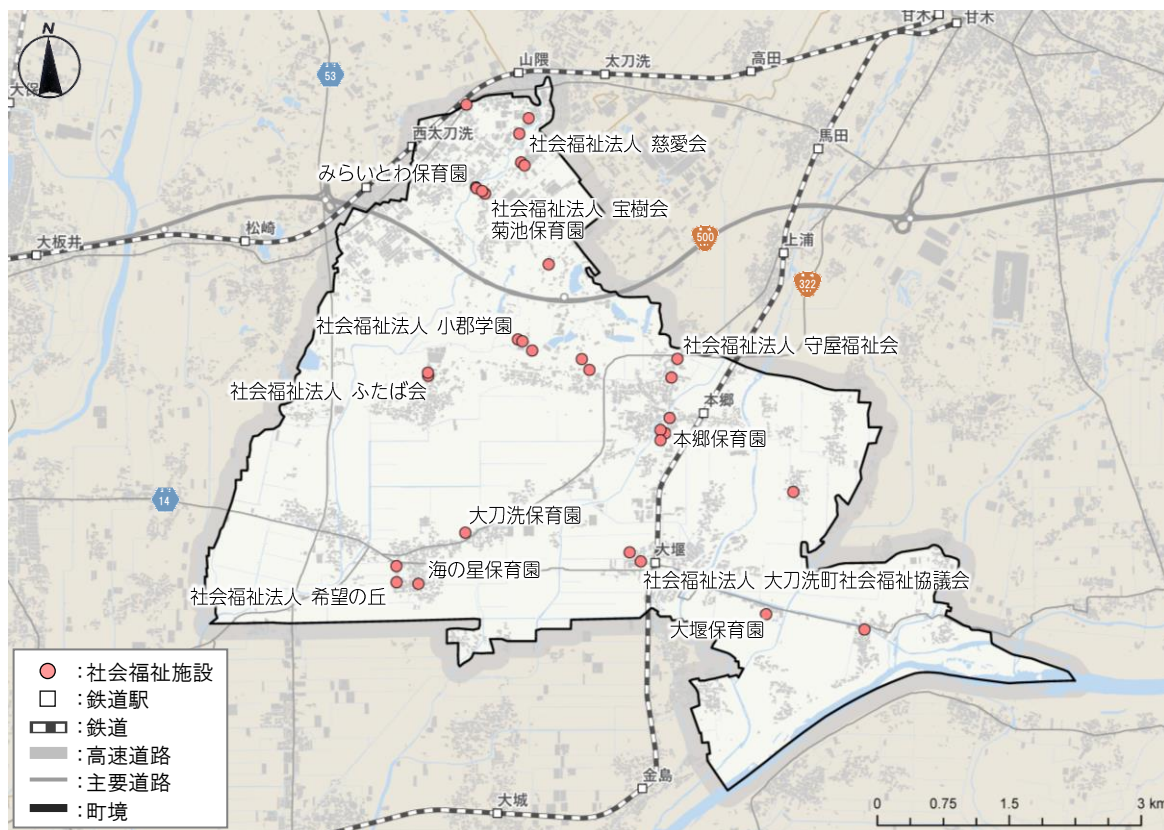


図 社会福祉施設の分布図

(5) 町内の交通特性

(通勤・通学)

- 本町在住の通勤・通学者 8,053 人のうち、町内で通勤・通学を行う者は 2,775 人 (35%) と、半数以上が町外へ通勤・通学を行っています。
- 他市町村への通勤・通学者 5,118 人では、大刀洗町に隣接した久留米市、朝倉市、小郡市の順に流出が多い状況です。町外から流入する 2,919 人は、上記と同様市町 (久留米市、小郡市、朝倉市の順) に多く見られます。

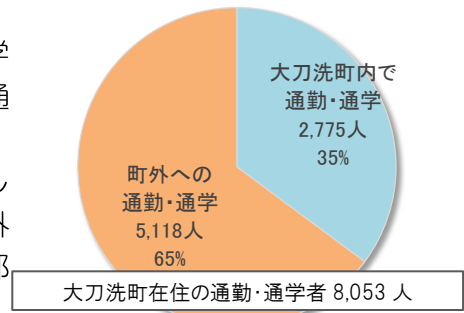


図 町内・町外の割合

出典:H27 国勢調査

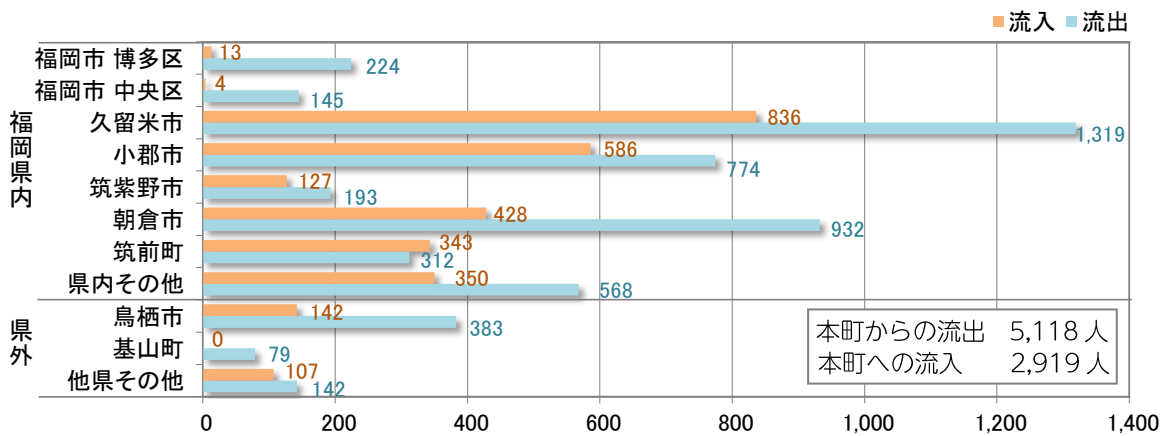


図 町外への (からの) 通勤・通学

出典:H27 国勢調査

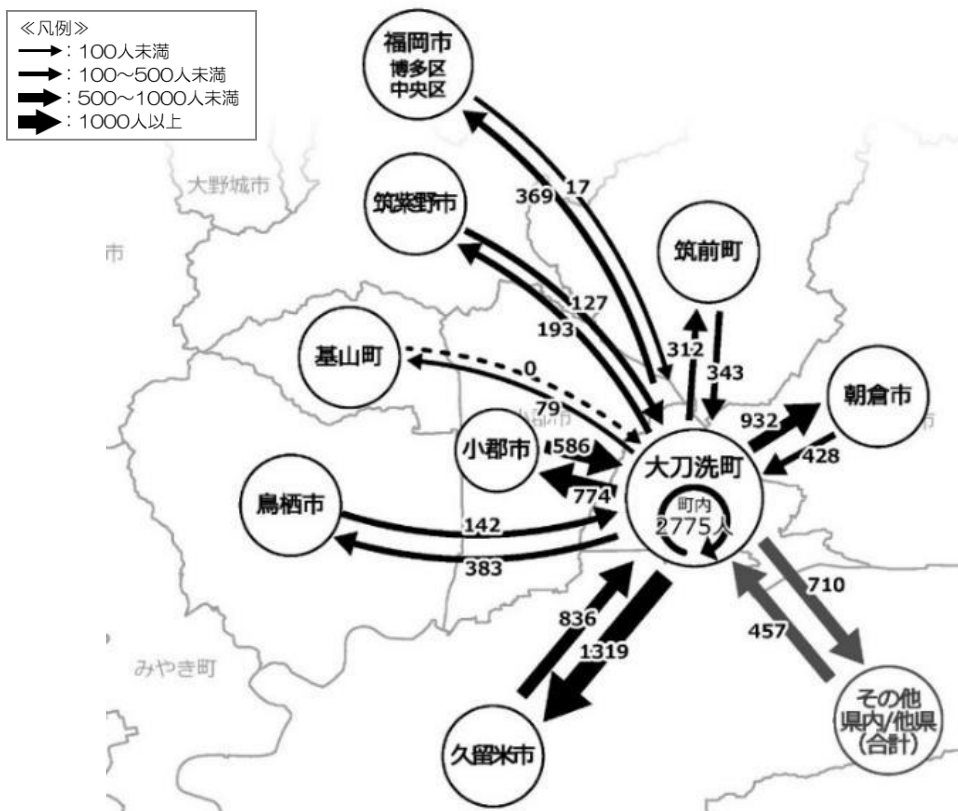


図 通勤・通学状況

- 利用交通手段では、通勤者はほとんどが自家用車利用であり、通学者は鉄道・電車が最も多く、次いで自転車が多く利用されています。

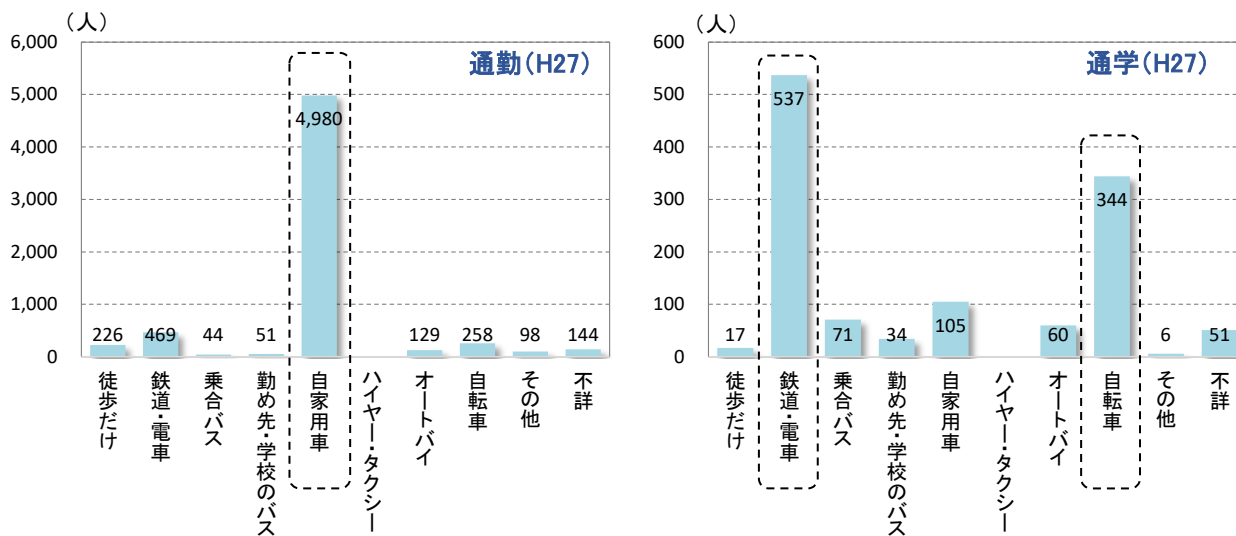


図 利用交通手段の割合

出典:H27 国勢調査